

受け継がれる大切なもの

長野県松本市立 源池小学校

6年 田村昂大（源池の森委員会委員長）・茅野 晶（同副委員長）

はじめに

学校を取り囲むようにある「実のなる森」「花の森」「かぶと虫が来る森」「ぼうぼう山」「源池の森」。昭和36年、6年生の女の子が、清掃の時間に草取りをしながら、「遊び場がほしいな!」と言ったのを聞いた当時の校長先生が、全校朝会で「みんなの夢をこの学校の中に実現させよう」と呼びかけ「夢の広場」構想～100年の森を作ろう～がはじまったそうです。当時の子どもたちと先生、地域の人たちみんなが協力してたくさんの森が作られたのです。そして、その時はじまった「みどり学習」は、今も「総合的な学習の時間、生活科」を「みどりの時間」と呼び、受け継がれています。



活動の紹介 みどりの時間

各学年、学級の活動を少し紹介します。1年生は、学校敷地内にある河童池からはじまり、近くの田んぼにお邪魔しての生き物とり、学校のすぐ隣を流れる薄川にもチャレンジしています。2年生は、合鴨を飼って日々の世話や劇、カルタづくりなど様々な活動をかもさん中心におこなっています。

3年生は、薄川で捕ってきた魚（カジカやアブラハヤ、ドジョウなど）や、水生昆虫で水族館をつくり、全校を楽しませています。4年生は、ツリーハウスに挑戦しています。力を合わせてはしごを作り、今まで木に登れなかった子も登れるようになってニコニコです。5年生は、町探検でたくさんの地元のひととふれあい、水の町松本、城下町松本を再発見しています。6年生は影絵劇に挑戦し、自分たちでどんどん工夫している学級と、震災について学習し、自分たちにできることはないかをテーマに被災地の小学校との交流を進めている学級があります。



源池の森に育まれ のびのび育つ源池っ子

長野県松本市立源池小学校

6年 田村昂大（源池の森委員会委員長）・茅野 晶（同副委員長）



源池小学校

松本駅から1kmちょっと、「あがたの森」となり、芸術館や美術館など松本市の中心街が学区になっているぼくたちの学校です。街の学校ですが、薄川の堤防に沿い、学校を取り囲むように「実のなる森」「花の森」「かぶと虫が来る森」「ぼうぼう山」「源池の森」があり、緑の多い学校です。また、源智の井戸をはじめ多くの湧水に恵まれ、古くからの歴史や伝統もあります。

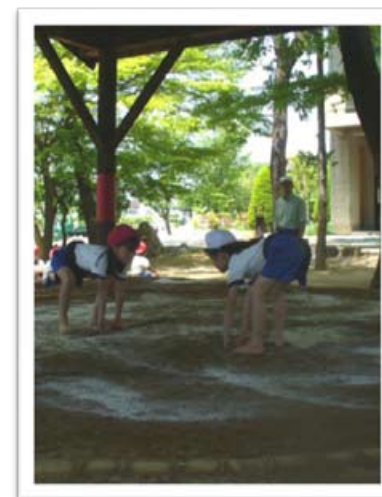


源池の森

そこは、木が茂り木陰があり、森のような雰囲気があります。委員会の活動の一つとして、全校にアンケートをとって楽しい遊具を作っています。ハンモックやターザンロープなどがあり、みんなの遊び場となっています。せせらぎや河童池には、メダカが群れをなし、源池小のシンボル河童の像がぼくたちを見守っています。

大相撲源池場所

源池の森には土俵もあります。昭和54年に作られ、ビックリするぐらい立派で本格的なものです。6月のはじめに全校が東西に分かれ、大々的に相撲大会が開かれます。5年代表と6年代表による源池小横綱決定戦も男女ともすごく盛り上がります。



森の音楽堂コンサート

森の中に「森の音楽堂」と呼ばれるステージがあります。そこで毎年6月の下旬にコンサートが開かれます。クラスや友達同士、先生方も自由に参加し歌ったり踊ったり、様々な表現をします。コンサートの最後はみんなで「源池の森の歌」を歌います。この歌は、子ども会（児童会）を中心に作られ『ぼくたち、私たちの大切な場所、この森はみんなのもの』と歌われています。



スイカとツツジの町 松本市波田唯一の学校

長野県松本市立 波田小学校

6年 古畑雛子・唐澤紀佳

学校紹介

1947年村立小学校として創立。1973年波田町立となりましたが、松本市に統合されたことに伴い、2010年、松本市立波田小学校となりました。全校約950人（各学年5クラス）の学校です。



活動場所の紹介

約500本もの校庭のアカマツは、平成23年に松本市文化財に指定されました。

「小学校の松林は、もとは松本藩の御林で、後に波田官林となった一部であり、かつては森口から湊東まで続く広大な松林であった。アカマツを有用林として残し、地元住民を中心とした保護・管理により、現在約450本が生育している。樹齢200年を超えるものもあり、秋にはこも巻きが行われるなど、よく手入れがされている。小学校の敷地約40,000㎡のうち、校舎及びグラウンドの周辺20,000㎡余りの区域がアカマツ林になっている。」

（松本市文化財指定書より）



波田小の宝!! 松林

での活動?



長野県松本市立 波田小学校

6年 古畑雛子
6年 唐澤紀佳

波田小学校には、校舎の前にある前庭から、校庭、そして裏庭へと校舎を囲むように松林があります。松林には、約500本の赤松が植えられており、この松林は今年の4月から松本市の指定文化財になりました。そして私が児童会長になるときに、「松やつつじを大切にする」という公約を掲げました。そこで、私たちは、この松林をフィールドに活動をしていこうと考えています。

①遊び場としての松林

校舎を囲む松林や校舎のうらの松林は休み時間の遊び場になっています。児童は松やつつじ林の中で「おにじ、こ、ぎ」基地遊びなどをしていつも自然とふれあっています。

②こもまき体験

波田小学校の松林では冬に「こもまき」をしています。これは、松の葉を食べる虫を、さんらん時期にこもまきの中におびき寄せ、春になってこもまきをはずし、燃やしてごします。

ツツジちゃん



松林の中にはつつじもはえているよ!!

春にはいろとりどりきれいな花がさくよ。

主な活動は、この学校林、遊々の森全国子どもサミットで学んだことをいかして、考えていこうと思っています。

松風くん

